

令和7年度 日本水道協会研修会開催日程案

研修会名	開催場所	開催期日・日数	定員	参加費(税込)	研修内容
水道基礎講座 (東京会場第1回) (東京会場第2回) (大阪会場第1回) (大阪会場第2回)	川口研修所 ^{※3}	6月4日～6日	3	80 会 員 26,400円	水道業務に従事する新任職員(事務系・技術系)を対象に、水道水がつかられ、配られるまでの過程をはじめ、水道事業の仕組み、水道経営のあり方など水道事業全般にわたる基礎知識の修得を目的とした研修
	〃	6月11日～13日	3	80 非 会 員 39,600円	
	大阪会館 ^{※4}	6月18日～20日	3	80	
	〃	6月25日～27日	3	80	
水道基礎講座 (オンライン)	Web	7月18日～8月8日 (配信期間)	-	- 会 員 26,400円 非 会 員 39,600円	・オンライン研修では、集合型研修に準じた講義内容(3日間分)をオンデマンド形式にて22日間配信する
浄水場等設備 技術実務研修会 (東京会場第1回) (東京会場第2回) (東京会場第3回) (東京会場第4回) (東京会場第5回) (東京会場第6回) (東京会場第7回) (東京会場第8回) (東京会場第9回) (大阪会場第1回) (大阪会場第2回) (大阪会場第3回) (大阪会場第4回)	東 京 都 ^{※5}	5月27日～30日	4	15 会 員 90,200円	水道業務に従事する経験年数1年以上の技術系職員を対象に、実技研修(ポンプ性能試験・分解・組立、浄水処理、シーケンス配線等)を通じて設備の保守・管理に必要な技術レベルの向上を図ることを目的とした研修 ・東京会場第1回～第4回、大阪会場は水道事業体に勤務する職員に限る
	〃	6月3日～6日	4	15 非 会 員 135,300円	
	〃	6月17日～20日	4	15	
	〃	8月5日～8日	4	15	
	〃	12月9日～12日	4	15	
	〃	12月16日～19日	4	15	
	〃	令和8年 2月3日～6日	4	15	
	〃	2月17日～20日	4	15	
	〃	2月24日～27日	4	15	
	〃	令和7年 8月19日～22日	4	10	
〃	〃	8月26日～29日	4	10	
〃	〃	9月2日～5日	4	10	
〃	〃	9月9日～12日	4	10	
水道技術者 ブロック別研修会 (北 海 道) (東 北) (関 東) (中 部) (関 西) (中国四国) (九 州)	札幌市	6月13日	1	60 会 員 18,700円	水道事業体(簡易水道事業を含む)・地方公共団体の水道行政部門もしくは衛生行政部門・専用水道・水道関係企業等の技術系職員を対象に、水道維持管理や水質管理等、水道技術に関する知識の向上を図ることを目的とした研修
	青森市	6月20日	1	60 非 会 員 24,200円	
	日本水道協会 ^{※7}	6月27日	1	60	
	長野市	7月8日	1	60	
	大阪会館	7月4日	1	60	
	高松市	7月15日	1	60	
佐賀市	7月25日	1	60		
水道事業 事務研修会 (経営初級コース) (経営中級コース) ^{※1}	川口研修所	7月2日～4日	3	80 会 員 23,100円 非 会 員 35,200円	水道業務に従事する事務系職員(経理・経営・会計)を対象に、例題・演習を交え専門的知識の向上を目的とした研修 ・経営初級コース：経理に関する基礎的知識(水道事業における会計実務の基礎から消費税の会計処理、経営分析) ・経営中級コース：経営・会計に関する専門的知識(水道料金の算定から水道料金改定に向けた広報まで)及びグループ別ディスカッション
	〃	7月8日～11日	4	60 会 員 35,200円 非 会 員 52,800円	
消費税基礎講座 (オンライン)	Web	6月9日～20日 (配信期間)	-	- 会 員 11,000円 非 会 員 16,500円	消費税の概要から取引の種類、会計処理、消費税申告までの体系的な体系について解説する研修 ・講義の内容は、水道事業事務研修会(経営初級コース)の「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」の科目(3時間分)に準じたものを、オンデマンド形式にて12日間配信する
企業会計基礎研修会	川口研修所	6月25日	1	80 会 員 11,000円 非 会 員 16,500円	水道業務に従事する職員で企業会計の基礎知識を身につけたい方を対象に、企業会計の基礎知識(公営企業会計の概念から勘定科目、決算書類の見方について)の習得を図ることを目的とした研修
漏水防止講座 (東京会場第1回) (東京会場第2回) (東京会場第3回) (大阪会場)	東 京 都	8月6日～8日	3	60 会 員 34,100円	水道業務に従事する技術系職員を対象に、漏水防止技術の学習、実技研修(漏水発見機器の操作等)を通じて、技術者の育成と資質の向上を図ることを目的とした研修
	〃	11月5日～7日	3	60 非 会 員 51,700円	
	〃	令和8年 1月28日～30日	3	60	
	〃	令和7年 11月19日～21日	3	30	
消費税実務講座	川口研修所	6月19日～20日	2	70 会 員 17,600円 非 会 員 26,400円	水道業務に従事する事務系職員を対象に、消費税の実務的な理論や会計処理についてワークシートを用いた演習を主体に講義を行い、専門的な知識の向上を図ることを目的とした研修
未納料金対策 実務研修会 ^{※1} (東京会場第1回) (東京会場第2回) (大阪会場第1回) (大阪会場第2回)	川口研修所	7月31日～8月1日	2	60 会 員 17,600円	水道料金徴収業務に携わる職員を対象に、水道料金の未納対策について、実務面を主体にグループ別ディスカッションを交えた研修を行い、料金徴収業務の円滑な運営に資することを目的とした研修
	〃	9月18日～19日	2	60 非 会 員 26,400円	
	大阪会館	7月10日～11日	2	60	
	〃	9月4日～5日	2	60	
水道事業管理職事務研修会 ^{※1}	川口研修所	7月24日～25日	2	70 会 員 22,000円 非 会 員 33,000円	水道業務に従事する事務系管理職またはこれを補佐する職員を対象とした、最近の水道事業運営上の課題に関する講義(水道行政、財政、広報等)及びグループ別ディスカッションを交えた研修
新任水道事業管理者研修会 ^{※1}	日本水道協会	8月6日～8日	3	60 会 員 40,700円 非 会 員 61,600円	新任水道事業管理者またはこれを補佐する職員を対象とした、水道事業管理者として必要な知見に関する講義(水道行政、争訟、危機管理等)及びグループ別ディスカッションを交えた研修

研修会名	開催場所	開催期日・日数	定員	参加費(税込)	研修内容
水道技術管理者研修会※ ¹ (第1回) (第2回)	川口研修所 "	7月15日～16日 10月23日～24日	2 2	会 員 18,700円 非 会 員 28,600円	水道技術管理者またはこれを補佐する職員を対象に、水道事業の直面する技術的諸問題並びに時代に即応する高度な技術に関する講義(水道水質管理、震災対策等)及びグループ別ディスカッションを交えた研修
水道技術者研修会 (Aコース) (Bコース)※ ¹	川口研修所 川口研修所	11月11日～14日 12月3日～12日	4 8	会 員 44,000円 非 会 員 66,000円 会 員 77,000円 非 会 員 115,500円	水道業務に従事する技術系職員を対象に、水道施設の設計、維持管理に関する講義を通じて、技術水準の質的向上を図ることを目的とした研修 ・Bコースでは、講義に加えて漏水防止実習及びグループ別ディスカッションを実施
水道技術者研修会 (Aコースオンライン)	Web	12月1日～22日 (配信期間)	-	会 員 44,000円 非 会 員 66,000円	・Aコースオンライン研修では、集合型研修に準じた講義内容(4日間分)をオンデマンド形式にて22日間配信する
水道事故防止研修会※ ¹ (東京会場) (大阪会場)	川口研修所 大阪会館	11月6日～7日 令和8年 1月15日～16日	2 2	会 員 16,500円 非 会 員 25,300円	水道施設の運転管理・維持管理に従事する技術職員等を対象に、水道管路及び浄水場等における事故の原因や再発防止等を主なテーマとしたグループ別ディスカッションを通じて、労働災害及び事故の防止に資することを目的とした研修
水道施設耐震技術研修会 (東京会場) (大阪会場)	川口研修所 大阪会館	12月17日～19日 令和8年 2月4日～6日	3 3	会 員 22,000円 非 会 員 33,000円	水道施設の耐震設計業務等に携わる技術系職員を対象に、「水道施設耐震工法指針・解説2022」の解説を中心に、水道施設の耐震化について実務に活用できる体系的知識の習得を目的とした研修
水道技術者専門別研修会 (浄水施設部門) (機械電気計装設備部門) (給水装置部門)	川口研修所 " "	令和8年 1月20日～23日 1月27日～30日 2月3日～6日	4 4 4	会 員 44,000円 非 会 員 66,000円 80	当該部門の実務経験年数3年以上の技術系職員を対象に、技術職員の専門的知識の向上に資することを目的とした研修 ・浄水施設部門：浄水施設(取水・沈澱、ろ過・排水処理等)、機械・電気・計装設備、水質管理等 ・機械電気計装設備部門：電気設備(受電・変電・配電設備)、機械設備(ポンプ及び浄水・排水処理設備等)等 ・給水装置部門：給水装置の構造及び材質基準、設計・施工、維持管理(事故事例とその対応)、指定給水装置工事事業者制度等 (令和8年度開催予定) ・水質管理部門 ・導送配水施設部門 ・浄水処理部門
配管設計講習会 (北海道会場) (東北会場) (関東会場第1回) (関東会場第2回) (関東会場第3回) (中部会場第1回) (中部会場第2回) (関西会場) (中国四国会場) (九州会場第1回) (九州会場第2回)	札幌市 仙台市 川口研修所 " " 名古屋市 " 大阪会館 岡山市 福岡市 "	11月5日～7日 9月17日～19日 9月3日～5日 9月10日～12日 令和8年 1月14日～16日 令和7年 7月16日～18日 11月26日～28日 12月10日～12日 8月27日～29日 10月29日～31日 12月3日～5日	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	会 員 36,300円 非 会 員 46,200円 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	配管設計の経験が少ない水道事業者または民間企業等の職員を対象に、「配水管の設計に関する基礎知識」から「ダクタイル鋳鉄管を基本とした製図・積算」までの実務能力の習得を目的とした研修
【特別プログラム】 情報発信スキルアップセミナー ～読ませる文章から始める発信術～※ ² (参加) (オンライン) ～見せるデザインから始める発信術～ (参加) (オンライン)	日本水道協会 Web 日本水道協会 Web	8月22日 8月22日 令和8年 1月22日 1月22日	1 1 1 1	会 員 5,000円 非 会 員 7,500円 会 員 5,000円 非 会 員 7,500円	水道事業に従事するすべての職員を対象として、水道使用者からのさらなる理解・協力を得るため、組織全体の今後の情報発信力向上・強化に資することを目的としたセミナー ～読ませる文章から始める発信術～ 広報全般についての基礎知識の習得に加え、主に文章による情報発信時の効果的な表現方法等を学び、実例を交えた伝わる文章への書き換え等の演習を通して、実務に活用できる情報発信力の習得を目的とする。 ～見せるデザインから始める発信術～ 広報全般についての基礎知識の習得に加え、主にデザインによる情報発信時の効果的な表現方法等を学び、水道使用者との接点となる情報発信の機会の活用についてのケーススタディを通して、実務に活用できる情報発信力の習得を目的とする。 ・オンラインは、集合型セミナーの講義内容をライブ配信する
水道技術管理者資格取得講習会 (川口研修所) (大阪会館) (オンライン第1回) (オンライン第2回)	学科講習会場 川口研修所 大阪会館 Web "	学科講習日程 9月24日～10月15日 10月21日～11月11日 10月6日～28日 11月4日～26日	15 15 15 15	80 80 80 80	水道法施行規則第14条第1項第3号の規定に基づき、水道技術管理者の資格を取得しようとする方を対象に、学科講習(15日間)及び実務研修(15日間)を実施 <開催場所・期日> ・学科講習：左記のとおり ・実務研修：8月中旬の受講承認通知にて決定 ・オンライン第1回は日本水道協会会議室、オンライン第2回は大阪会館にて学科試験を実施

<特記事項>

※1 グループ別ディスカッションを含む研修会

※2 令和7年度新規の研修会

<主な開催場所>

※3 日本水道協会川口研修所(埼玉県川口市川口4-3-39)

※4 日本水道協会大阪会館(大阪府大阪市阿倍野区文の里4-5-4)

※5 東京都水道局研修・開発センター(東京都世田谷区玉川田園調布1-19-1)

※6 大阪府水道局体験型研修センター(大阪府大阪市東淀川区柴島3-11-94)

※7 日本水道協会会議室(東京都千代田区九段南4-8-9)

(水道技術者ブロック別研修会、配管設計講習会は全国7会場にて開催いたします。開催場所は、各研修会の開催要領をご確認ください。)

<付 記>

※ 台風等の自然災害等の影響により、やむを得ず研修会を中止・延期する場合、日数・参加費等に変更が生じる場合がありますことをご承知ください。

開催期日、開催場所等については、決定次第、ホームページ等に掲載いたします。

※ オンデマンド配信・ライブ配信による研修は、募集期間は設定しますが定員による制限は設けません(水道技術管理者資格取得講習会を除く)。